

事務事業名	三刀屋木次IC周辺地区都市再生整備計画事業		所属部	建設部	所属課	都市計画課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	都市計画グループ	
	課長名	藤原昌弘		担当者名	佐藤俊之	
	施策名	〈09〉都市・住まいづくりと土地利用の推進		電話番号	0854-40-1064	
	目的対象	市内全域	意図	有効かつ効果的に利用・整備する。		
基本事業	基本事業名	〈026〉中核拠点ゾーンの整備促進		予算科目	会計	0:14:0:0:7
	目的対象	中核拠点ゾーン	意図		都市機能が高まる。	
	大事業名	三刀屋木次IC周辺地区都市再生整備計画事業			中事業名	三刀屋木次IC周辺地区都市再生整備計画事業
					項目	2:0:2:0:0

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
雲南市民	都市基盤施設整備による居住環境の向上により、中心市街地の人口増加傾向の維持、及び来訪者の満足度向上を目指す
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H28 年度 ~ R3 年度)	国の都市再生整備計画事業により、道路の整備等による中心市街地の利便性と回遊性の向上、イベント広場整備による交流人口の拡大、賑わいの創出と商業施設への集客性の向上などにより、中心市街地の活性化を図る。 【全体事業費】434百万円
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・歩道整備工事 L=29m ・まめなか広場整備 A=640㎡ ・事後評価業務	中心市街地活性化を実現するためには、本事業と関連事業である民間商業施設整備、ホテル誘致が核となるため、市・商工会・まちづくり会社が一体となって、誘致活動を進めている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 中心市街地の人口	人	1,943	1,983	1,940	
イ 中心市街地の賑わい・交流の満足度	%	66.4	61.1	60.7	
ウ 公共交通ネットワークの満足度	%	48.5	51.7	53.2	
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
【地方債】合併特別債 【R3事業費】 報償費 10千円 委託料 3,135千円 工事費 22,477千円 合計 25,622千円	財源内訳	国庫支出金	千円	2,000		200
		県支出金	千円			
		地方債	千円	208,800		21,500
		その他	千円	4,000		
		一般財源	千円	7,090		3,922
		事業費計	千円	221,890	0	25,622

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	中心市街地活性化事業と連携して、道路整備や公園広場整備を行い、中心市街地の利便性と回遊性の向上、交流人口の拡大、賑わいの創出と商業施設への集客性の向上など、中心市街地の活性化に繋がった。
② 事業実施するうえでの課題	定住人口の流出・購買力の流出・交流人口の流出の課題を一定程度解決できる手段であるため、都市基盤施設整備、関連事業である民間事業者による商業施設整備、及びビジネスホテル誘致を進めていく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	R3年度で事業は完了した。今後は指標について、フォローアップを行っていく。